

## 2018年度（平成30年度）常磐大学教員免許状更新講習 【必修領域】授業概要

11月17日(土) 【必修領域】教育の最新事情						
第1グループ			第2グループ			
時間	担当者	内容	時間	担当者	内容	
9:00-10:00	大高 泉	国の教育政策や世界の教育の動向	9:00-10:00	大内晶子	脳科学と心理学の観点から考える子どもの発達	
10:10-11:10	小島 睦	教員としての子ども観，教育観等についての省察	10:10-11:10	渡邊洋子	多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割	
11:20-12:20	大内晶子	脳科学と心理学の観点から考える子どもの発達	11:20-12:20	島田茂樹	カウンセリングマインドの必要性，特別支援教育に関する新たな課題	
12:20-13:20		昼食休憩	12:20-13:20		昼食休憩	
13:20-14:20	渡邊洋子	多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割	13:20-14:20	大高 泉	国の教育政策や世界の教育の動向	
14:30-15:30	島田茂樹	カウンセリングマインドの必要性，特別支援教育に関する新たな課題	14:30-15:30	小島 睦	教員としての子ども観，教育観等についての省察	
15:40-16:40		修了試験	15:40-16:40		修了試験	

### 各授業の概要

#### 国の教育政策や世界の教育の動向 [担当：大高 泉]

コンピテンシー・21世紀型スキルなど、「新しい能力」の育成を志向する世界の教育動向と、その動向を踏まえつつ日本の教育課題をうけて告示された新学習指導要領にみる今後の日本の教育政策について主要な点を中心に講義する。

#### 教員としての子ども観，教育観等についての省察 [担当：小島 睦]

これからの社会を創り出していく子どもたちに必要となる資質能力はどのようなことか、また、そのために教員にはどのような指導が求められるのかを明らかにし、これからの学校教育を担う教員の資質能力と学校教育の在り方について考察する。

#### 脳科学と心理学の観点から考える子どもの発達 [担当：大内 晶子]

この講義では、特に自己制御能力の発達を取り上げる。自己制御能力は、行動、注意、感情のコントロールをする上で必要な能力であり、社会性にも関わるため、脳科学、心理学それぞれの立場から研究が進んでいる。受講者には、その発達を促すために、保護者や教師が子どもとどのように関わるべきかについて考えて欲しい。

#### 多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割 [担当：渡邊 洋子]

社会の高度化・複雑化にともない、子どもたちを取り巻く教育環境は大きく変化してきた。また、これまで以上に、いかに子どもたちを支援し、個・集団ともによりよい方向へ導いていくか、教員の専門性が求められている毎日となっている。校種の違いなどにより、対応を迫られる状況も少しずつ違いが見られる。本講習では、受講者相互の関わりを大切にしながら、学び合いの場を設け、明日からの指導に活かせる時間にしたい。

#### カウンセリングマインドの必要性，特別支援教育に関する新たな課題 [担当：島田 茂樹]

子どもの発達に関する最新の知見の理解に基づき、カウンセリングマインドの必要性の点から子どもの理解と支援のあり方を考える。

## 2018年度（平成30年度）常磐大学教員免許状更新講習【選択必修領域】授業概要

11月18日(日) 【選択必修領域】学習指導要領改訂・法令改正と教育をめぐる今日的課題					
第1グループ			第2グループ		
時間	担当者	内容	時間	担当者	内容
9:00-10:00	大河原清	学習指導要領改訂の動向 —総則を中心に—	9:00-10:00	大高 皇	近年の教育改革の動向
10:10-11:10	依田 泉	学習指導要領改訂等の動向 —教科教育を中心に—	10:10-11:10	菊池龍三郎	法令に見る家庭・学校・地域の連携と教育
11:20-12:20	大高 皇	近年の教育改革の動向	11:20-12:20	小澤 聡	法令に見る学校における危機管理上の課題
12:20-13:20		昼食休憩	12:20-13:20		昼食休憩
13:20-14:20	菊池龍三郎	法令に見る家庭・学校・地域の連携と教育	13:20-14:20	大河原清	学習指導要領改訂の動向 —総則を中心に—
14:30-15:30	小澤 聡	法令に見る学校における危機管理上の課題	14:30-15:30	依田 泉	学習指導要領改訂等の動向 —教科教育を中心に—
15:40-16:40		修了試験	15:40-16:40		修了試験

### 各授業の概要

#### 学習指導要領改訂の動向 —総則を中心に— [担当：大河原 清]

平成29年3月公示の新学習指導要領等の総則を中心に、全ての学習の基盤となる力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力、組織的・計画的に教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメント、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善等につき、関連資料を参考にしつつ理解を深める。

#### 学習指導要領改訂の動向 —教科教育を中心に— [担当：依田 泉]

新学習指導要領等における新たな方向性を教科教育を中心に説明する。特筆される内容として、小学校から高等学校に共通する英語教育とプログラミング教育の強化、さらに、高等学校の社会科・理数科・国語科の改編が挙げられる。また、ICTの活用やアクティブラーニングの導入といった教育方法の側面にも注目する。

#### 近年の教育改革の動向 [担当：大高 皇]

教育基本法および関連三法の改正とその背景となる社会状況の変化を中心として、わが国の教育政策の動向について理解するとともに、実践上の課題について検討する。

#### 法令に見る家庭・学校・地域の連携と教育 [担当：菊池 龍三郎]

学校・園、家庭、地域が連携して教育を行うことは、どうして重要なのか。また、具体的にどのような連携が考えられるか。現代の社会が抱えている課題を、教育社会学の知見や具体的なデータに基づき検討しながら関連する法令や答申の背景を理解し、学校・園、家庭、地域が連携していくためのポイントを考察する。

#### 法令に見る学校における危機管理上の課題 [担当：小澤 聡]

2014年に一部改正された学校保健安全法施行規則、2009年に一部改正された学校保健安全法および学校給食法に基づいて、関連資料を参考に、学校給食、学校安全計画、危機管理マニュアルの作成などについて考察をすすめる。